

第1学年 生活科学習指導案

い組 男子18名 女子17名 計35名
指導者 永野 優希

1 小単元 きれいな はなを さかせよう

2 小単元について

(1) 小単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、学校探検の活動等を通して、学校の施設の様子や学校生活のきまりが分かり、落ち着いた学校生活を送ることができるようになってきている。また、6年生から給食や掃除のことを教えてもらったり、いろいろな先生方とあいさつや会話を交わしたりすることを通して、人との適切なかかわり方ができるようになっている。そして、2年生からアサガオの種をプレゼントしてもらい、育て方を教えてもらったことから、『自分でもアサガオを育ててみたい』『きれいな花を咲かせたい』という思いや願いをもつようになってきている。

そこで、本小単元では、自分のアサガオに愛着をもってかかわることができるようにするために、アサガオの栽培活動に、主体的・能動的に取り組ませる中で、『きれいな花を咲かせたい』という思いや願いを達成していく楽しさを味わわせながら、自分の活動を連続・発展させようとする意欲を高める。同時に、**諸感覚を働かせながらアサガオの生長の様子を観察したり世話をしたりするなどかかわることができるようにするとともに、アサガオも自分と同じように生命をもっていることや生長していることに気付くことができるようにするものである。**また、これらの活動を通して、栽培道具の適切な使い方、後始末等の習慣・技能を身に付けることができるようにするとともに、自分の取り組み方のよさや成長に気付かせることもねらっている。

なお、これらの活動は、『もっと生き物と仲良くなりたい』『生き物のお世話をしてみたい』という願いとして、「いきものとなかよし」の活動へと発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

アサガオは、生長の変化や様子をとらえやすく、植物を育てる楽しみや喜びを感じることができる。また、生長するにつれて様々な世話が必要となり、気付きを深めながら世話の仕方を考えることができる植物である。1年生でも無理なく栽培できるとともに、短期間で花を楽しんだり種を収穫したりすることができる。世話をする楽しさを持続しながら、生命の連続性に気付いたり、栽培活動への成就感や達成感を味わったりすることができるものである。さらに、開花の時期を迎えると、登校直後に花を観察でき、1年生にとって学校に来る楽しみを生み出すことができるものである。

このようなアサガオの栽培活動に主体的に取り組む、活動で得た気付きを広げたり深めたりしながら、アサガオへの愛着を深めることができるようにするために、**アサガオの栽培活動への思いを膨らませる体験活動の設定と、栽培活動を通して生まれた気付きを可視化し、それを基にアサガオへのかかわり方を自覚化することができる働きかけを重点化していきたい。**

具体的には、まず、2年生が招待する「1年生を迎える会」でアサガオの種のプレゼントを受け取り、栽培活動への意欲をもたせたい。そして、「あさがおのたねをまこう」の活動へと展開し、2年生からももらった種をじっくりと観察したり、どんな花が咲いてほしいか、種はどのように蒔いたらいいのか話し合ったりすることを通して、アサガオの栽培活動への意欲を高めていきたい。次に、この活動で高まった思いや願いを基に、「あさがおさんこんにちは」の活動へと展開し、発芽や本葉の様子を観察する活動を設定したい。ここでは、**諸感覚を働かせながら、じっくりとアサガオにかかわることができるようにするために、観察の時間を確保し、気付いたことを言葉や絵を使って表現させ、自分のかかわり方のよさに気付かせていきたい。**アサガオが生長し、蔓が伸びてお互いに絡まるようになってきたときに、「あさがおさんがたいへん」の活動を設定し、どうすれば絡まらないか考えさせていきたい。このとき、観察を通して得た気付きやこれまでの経験を基に、支柱の必要性に気付かせていきたい。さらに、日常的にアサガオの栽培活動に取り組ませなが

ら、花が咲いたときには「はながさいたよ」の活動へと発展し、諸感覚を働かせながら花を観察したり、観察カードに描いたりし、花が咲いた喜びを表現させていきたい。最後に、種が収穫できるようになったときに、「あさがおのたねのプレゼントをつくろう」の活動を設定したい。ここでは、収穫した種の数数を数えることを通して、一つの種からたくさんの種が収穫できることに気付かせ、道徳の時間との関連を図りながら、生命のすばらしさを実感させたい。さらに、これまでの観察カードを使ってアサガオの生長をまとめる活動を通して、生命の連続性に気付かせていきたい。

なお、活動の展開においては、一人一人の実態に応じて支援し、互いのよさに触れ合う場を設定したり、学習したことを生かせるような教師の働きかけを行ったりしながら、子どもの思いや願いが連続・発展するようにしたい。

このような活動を通して、子どもたちは活動に没頭し、活動に対する成就感や満足感を味わうとともに、自分のよさや成長を実感し、自分への自信と自分の生活をこれまで以上によりよくしていくとする意欲を高めることができる。

(3) 子どもの実態 (対象者 い組 35名 数値は延べ人数)

<p><アサガオの栽培への意欲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・育てたい…17名 ・育てたくない…18名 <p><これまでの栽培経験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある…30名 ・ない…5名 <p><栽培したもの> (複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チューリップ…16名 ・アサガオ…13名 ・野菜(ミニトマト, ラディッシュ等)…12名 ・ヒマワリ…8名 ・パンジー…7名 <p><誰と育てたか> (複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園の先生…17名 ・家族…7名 ・友達…6名 <p><植物の栽培に必要な世話> (複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水やり…16名 ・太陽に当てる…12名 ・肥料やり…8名 ・草取り…5名 <p><困ったときどうするか> (複数回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生に聞く…23名 ・家族に聞く…15名 ・本やインターネットで調べる…5名 	<p>本学級のほとんどの子どもたちが、これまでに何らかの植物を栽培した経験をもっている。しかし、そのほとんどが家族や先生と一緒に育てており、自分の力だけで育てた経験をもっている子どもはいないことが分かる。また、アサガオを育ててみたいという願いをもっている子どもは半数ほどしかいない。その理由としては、栽培経験がなくアサガオに対する関心や興味を十分にもてていなかったり、世話をすることに意欲的でなかったりすることが挙げられる。そのため、『自分でアサガオを育ててみたい』という思いを抱かせるようなアサガオとの出会いを設定していきたい。さらに、その思いや願いを連続・発展させていくために、初めて育てるアサガオの栽培活動に諸感覚を使いながら、じっくりとかかわらせていきたい。</p>
--	---

め、初めて育てるアサガオの栽培活動に諸感覚を使いながら、じっくりとかかわらせていきたい。

植物の世話に関しては、水やりや日光、肥料等の必要性に気付いているが、支柱について気付いている子どもはいない。ここでは、ミニトマト等の栽培経験をもっている子どもがいることから、これまでの植物の栽培経験を想起させながら、どのような世話が必要なのか考えさせていきたい。世話を通して困ったときの対応の仕方としては、多くの子どもがインタビューを挙げている。しかし、友達との情報交換を挙げた子どもはいない。このことから、栽培活動を通して生まれる課題を共有させ、友達と情報交換できる場を設定することで、友達と学ぶよさを実感させていきたい。

(4) 指導上の留意点

ア 「あさがおのたねをまこう」の活動では、『アサガオを育てたい』という思いや願いをもたせるために、2年生からアサガオの種をプレゼントしてもらおう。ここでは、2年生の経験を聞く活動を設定し、『自分にも育てられそうだ』という思いを膨らませていきたい。さらに、アサガオの栽培への意欲を高めるために、プレゼントしてもらった種を観察させ、種の特徴をとらえさせたり、種に名前を付けたりさせる。そして、かわりを深めるために、自分の手で種まきをさせる。

イ 「あさがおさんこんにちは」の活動では、発芽や双葉、本葉の特徴をとらえることができるようにするために、よく見たり、実際に触ったりするなど諸感覚を使って特徴をとらえさせるとともに、自分のアサガオのこれまでの生長の様子や友達のアサガオと比較させ、比較から気付いたことを交流する活動を設定する。さらに、観察を通して得た気づきを絵や言葉で表現したカードを基に、どのようにして、それらの気づきを得ることができたのか振り返らせ、自分のアサガオへのかかわり方に気付かせていきたい。また、日常的な世話の活動が持続するために、世話の仕方を工夫してい

る子どもの紹介や世話の工夫を時系列で表した掲示を行い、情報の共有を図っていききたい。

ウ 「あさがおさんがたいへん」の活動では、支柱立ての必要性に気付かせるために、「アサガオのような花や野菜はないかな。」と問いかけ、これまでの経験を想起させたり、教師のアサガオを柱等の近くに置いておき、蔓植物の性質に気付かせたりしながら必要な世話を考えさせていく。

エ 「はながさいたよ」「あさがおのたねのプレゼントをつくろう」の活動では、育てることができた自分に気付かせるために、これまでの観察カードを使って、アサガオの生長をアルバムを作ったり、アサガオへの手紙を書いたりする活動を設定する。その際、「お水をあげたらあさがおさんは喜んでいたね」等とアサガオに対しての自分のかかわりを想起させながら、自分の取り組み方のよさに気付かせ、今後も植物へ親しみをもってかかわろうという気持ちをもてるようにする。

3 目 標

- (1) 『プレゼントされた種できれいなアサガオを咲かせたい』という思いや願いを基に、観察や水やり、支柱立て等の世話に進んで取り組むことができる。
- (2) これまでの栽培の経験や友達とかかわり合ったりしながら、世話をすることができる。また、諸感覚を働かせて気付いたことや分かったこと、自分が思ったことや感じたことを絵や言葉等で表現することができる。
- (3) アサガオの生長の様子や必要な世話の仕方に気付くとともに、世話に必要な道具の準備や後始末等の習慣・技能を身に付けることができる。また、アサガオを大切に育てることができた自分のよさに気付くことができる。

4 指導計画（全12時間）

活動する 楽しさ	活 動 名 (思いの連続と気付きの様相)	主 な 学 習 活 動 (時 間)	学習形態・環境構成 教師の具体的な働きかけ
○ アサガオの種を観察する楽しさ	・ 2年生からもらったアサガオを早く育てたいな。	1年生を迎える会	<ul style="list-style-type: none"> ・ アサガオの栽培活動への意欲をもたせるために、2年生から種を受け取る場を設定し、栽培の仕方についての話を聞かせ、栽培活動の見通しをもたせる。 ・ アサガオの世話や観察の意欲を高めるために、自分の手で種まきをさせる。 ・ アサガオへのかかわりを深めるために、じっくりと観察できる時間を確保し、実際に触らせる等して、諸感覚を使って観察させる。 ・ 自分の気づきを自分なりの方法で記録できるようにするために、観察カードの形式を多様に準備しておく。 ・ アサガオの生長の変化をとらえることができるようにするために、気付いたことを言葉や絵で表現する等、可視化させておき、時系列で振り返ったり比較したりすることができるようにする。 ※ 花や種の数え方を算数科「大きなかず」との関連を図りながら指導を行う。 ・ アサガオの生長や自分の取組を振り返らせるために、観察カードを蓄積させる。 ※ 道徳の時間と関連させ生命尊重について考えさせる。
○ アサガオの種を蒔くことができる楽しさ	あさがおのたねをまこう(2時間)	種をよく観察し、自分で種を蒔く。(1) 種まきのことをカードに描き、これからどんな世話をしたいか話し合う。(1)	
○ アサガオの生長の様子に気付く楽しさ	あさがおさんこんにちは(3時間)	発芽の様子を観察し、気付いたことを発表する。(1) 双葉の様子を観察し、気付いたことを発表する。(1) 本葉の様子を観察し、気付いたことを発表する。〈本時〉(1)	
○ 友達とともにアサガオに必要な世話を考える楽しさ	あさがおさんがたいへん(2時間)	必要な世話について話し合い、世話をしたり、支柱を立てたりする。(2)	
○ 自分の力でアサガオの世話をする楽しさ	・ どうしたらいいかな。 ・ 支柱を立てると大丈夫だよ。 ・ これは、つぼみかな。	自分の花の様子をカードに描いて発表する。(0.5)	
○ アサガオの生長を実感する楽しさ	はながさいたよ(2時間)	アサガオの花を観察し、どんなことができそうか話し合う。(アサガオを使った遊びを考える。)(1) 夏休み中のアサガオへのかかわりについて考える。(0.5)	
○ アサガオの花を観察する楽しさ	・ 花が咲いてうれしいな。 ・ 花がしぼんだところが膨らんできたよ。どうしてかな。 ・ 種が取れたよ！プレゼントを作りたいな。	アサガオの種を収穫し、種の数数を数えたり、自分の世話を振り返ったりする。(1)	
○ 種を収穫する楽しさ	あさがおのたねのプレゼントをつくろう(3時間)	新1年生への種のプレゼントの準備をする。(1)	
○ 新1年生のためにプレゼントを作る楽しさ	・ 1年生に喜んでもらいたいな。 ・ アサガオさん、ありがとう。	世話してきたアサガオを今後どうするか話し合う。(アサガオの片付けを含む。)(1)	

5 本 時 (5 / 12)

(1) 目 標

『きれいなアサガオの花を咲かせたい』という思いや願いを基に、進んで自分のアサガオを観察する中で、諸感覚を使って生長の様子をとらえたり、気付いたことを絵や言葉で表現したりすることができるとともに、アサガオの生長や自分のかかわり方のよさに気付くことができる。

(2) 本時の展開に当たって

本時では、思考の高まりを目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、アサガオの観察から気付いたことを、「さわったカード」や「よくみたカード」等の諸感覚ごとのカードに表現させ、それらを拡大したアサガオの写真の上に並べながら、自分の取組を振り返る交流活動を設定する。その際、気付きと取組を関係付けながら自分のかかわり方のよさに気付くことができるようにするために、「どうして、こんなにアサガオさんの変身を見付けられたのかな。」と問いかける。

(3) 準 備

自分が育てているアサガオ、観察カード、諸感覚カード、色鉛筆、アサガオの拡大写真 等

(4) 展 開

過程	主 な 学 習 活 動	時間	教 師 の 具 体 的 な 働 き かけ
意欲をもつ	<p>1 前時までの活動を振り返り、本時の学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> アサガオさんは、どうなっているかな。 アサガオさんの様子を観察したいな。 <p>あさがおさんを かんさつしよう。</p>	(分) 8	<ul style="list-style-type: none"> 自分のアサガオをもっと観察したいという思いや願いを高めるために、「アサガオさんは、どうなっているかな。」と問いかける。 諸感覚を使った観察から様々な気付きが生まれるようにするために、これまでの観察を想起させ、「アサガオさんの変身を見付けるには、どんな観察をしたらいいかな。」と問いかける。
活動する	<p>2 観察の仕方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手で触ると、触り心地が分かるよ。 耳をすませるとアサガオさんの声が聞こえるよ。 <p>3 自分のアサガオを観察し、気付いたことを発表する。</p> <p>自分のアサガオ</p> <ul style="list-style-type: none"> はじめの葉っぱとは、ちがう形の葉っぱが出てきたよ。 私の蔓の色は、赤い色をしているよ。 新しい葉っぱは、触るとざらざらした感じがするね。 <p>友達のアサガオとの比較</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤い色の蔓と、緑色の蔓があるよ。どうして違うのかな。 〇〇君とぼくは、葉っぱの数が違うね。 <p>諸感覚を使った観察</p> <p>これまでの生長の様子との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい葉っぱは、最初の葉っぱと形や触った感じが違うよ。 前よりも葉っぱが増えていてうれしいな。 <p>場 作 り</p> <p>掲 示 物 の 活 用</p> <ul style="list-style-type: none"> アサガオさんは、毎日どんどん変身していてすごいな。 同じ日に種まきしたけど、大きくなり方が違って面白いね。 <p>自分のアサガオへのさらなる愛着の深まり</p> <p>気付きの質を高める交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> よく見たり、触ったりしたからアサガオさんの変身をたくさん見付けられたよ。 アサガオさんの気持ちが分かったよ。 	32	<ul style="list-style-type: none"> 活動の意欲を高めるために、諸感覚を使って観察を工夫している子どもの取組を紹介する。 <p>(1)進んで活動できている子ども 観察の仕方を意味付けたり、価値付けたりするとともに、そのよさを周囲にも広げるようにする。</p> <p>(2)観察が早く終わった子ども 他の視点からの観察はできないか問いかけたり、友達のアサガオとの比較から自分のアサガオの特徴に気付かせたりする。</p> <p>(3)活動に戸惑っている子ども 「〇〇くんのアサガオさんは、前とどこが違うかな。」と具体的な観察の視点を与える。</p>
振り返る	<p>4 道具の後始末をする。</p> <p>5 本時の学習を振り返り、今後の思いや願いを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> アサガオさんのこと、もっと知りたいな。 これからもお世話をがんばりたいな。 	5	<ul style="list-style-type: none"> 観察を通じた気付きと自分の取組を振り返ることができるようにするために、諸感覚ごとのカードに気付きを表現させ、それらを拡大印刷したアサガオの写真の上に並べて、気付いたことを交流する活動を設定する。 自分のかかわり方のよさに気付くことができるようにするために、「どうして変身を見付けられたのかな。」と問いかけ、気付きと取組とを関係付けることができるようにする。